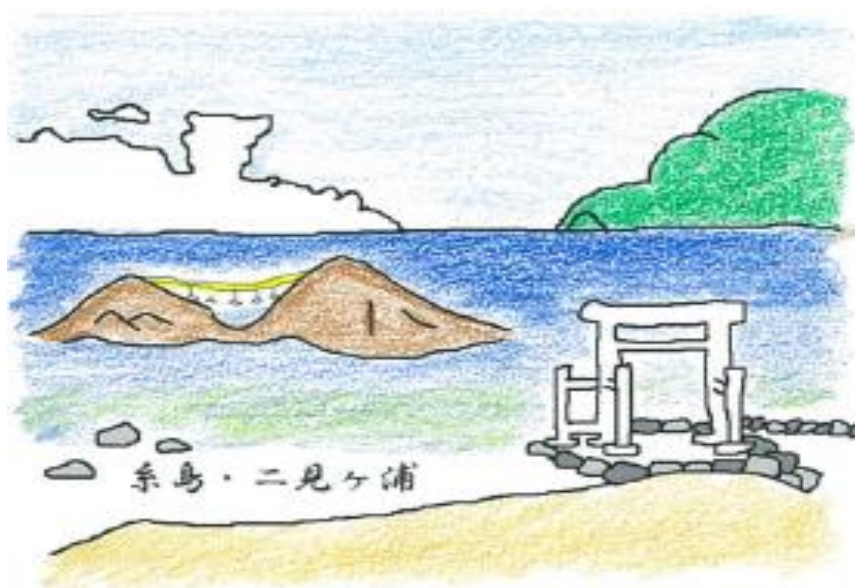


福岡空港限定!!

知ってまSKY



JAPAN AIRLINES

1. 空も地上も大渋滞らしいはい!
- 2 出発の1分差=離陸の4分差って知ってお〜?!
- 3.離陸の時刻を指定されることもあるって本当なん?!

1.空も地上も大渋滞らしいばい！！

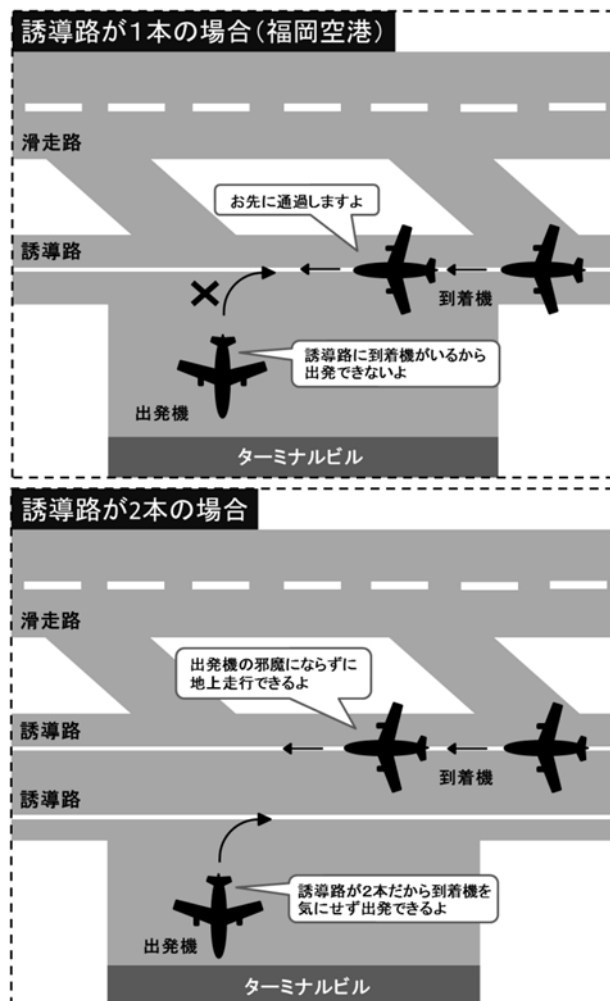
「出発準備ができたのに動き出さない！着陸したのに駐機場の手前で停止した！」飛行機を利用する際、みなさんはそんな経験がありませんか？まずはその原因をご紹介します。

・滑走路1本あたりの発着数日本一！

福岡空港の発着数は、年間で約17.1万回（平成26年度実績）です。これを1日あたりに換算すると約235便、すなわち2分に1機が離発着していることになります。これは日本国内では羽田空港（滑走路4本）、成田空港（滑走路2本）に次いで3番目に多く、滑走路1本あたりの発着数では日本一の多さ（福岡：約17.1万回、羽田：約10.8万回、成田：約11.4万回、那覇：約7.7万回）を誇ります。（福岡県庁HPより）

・地上での渋滞発生

福岡空港の構造上の特徴として、誘導路（滑走路に向かう出発機や駐機場に向かう到着機が通る道）が国内線ターミナル側に1本しかないことが挙げられます。この状況では、別の飛行機が誘導路上にいることにより、出発を待たされたり、着陸後になかなか駐機場までたどりつけなかったりすることがあります。誘導路が2本あれば、誘導路上を移動する飛行機と出発機がお互いに干渉することなく地上でのスムーズな移動が期待できます。（下図参照）

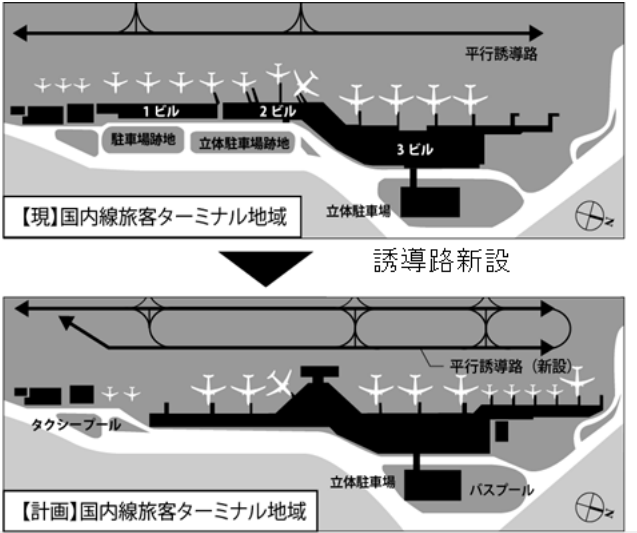


このような事情で、出発の準備が整っている飛行機に対して、管制官がすぐに出発の許可を出せないことがあります。ひとたび出発の機会を逃してしまうと他の飛行機の通過を待つなどして、大幅に出発が遅れてしまう場合さえあります。

・この状況どうすると？

現時点では出発準備をできるだけ早く整え、出発の機会を逃さないことが遅延を発生させないための最も有効な策です。とりわけ始発便の時間帯には短時間に多くの出発便が集中しているため支店スタッフ全員で定時出発を目指して取り組んでいます。

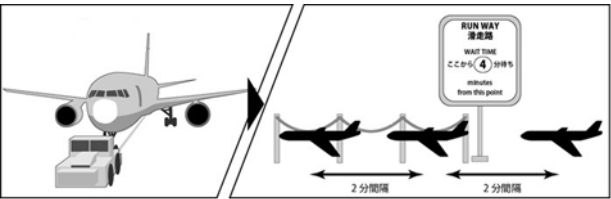
また、現在福岡空港では大規模な改良工事が行われており、ターミナルビルが刷新されるとともに、誘導路が2本になる予定です。そのため、工事完了後は現在のような飛行機による地上混雑は緩和されると考えられます。



2. 駐機場出発の1分差＝離陸の4分差って知ってお～！？

私たち航空会社は、定時出発に力を入れています。その理由のひとつに、飛行機が駐機場から動き出してから離陸するまでの間に秘密があるからです。

離着陸する飛行機には飛行機の安全を確保するため原則2分以上の間隔があげられます。つまり、離陸の準備が整っていても、着陸機がなければ前の飛行機が離陸した2分後、着陸機が1機ある場合は、早くても4分後にしか離陸できません。そのため、例えば出発が1分遅れだったとしても、離陸する時には定時出発した便に比べてその遅れが大きくなっていることもあるのです。



3. 離陸の時刻を指定されることもあるって本当なん？！

そろそろ出発できそうなのに飛行機が動かない…。機長からのアナウンスで、「当機は管制指示により離陸の時刻を指定されています」という言葉を耳にしたことはありませんか？これは、『フローコントロール』と呼ばれ、混雑が予想される空港や空域に飛行機が集中する状況を避けることを目的として、管制機関が飛行機ごとに離陸時刻を設定します。これにより着陸前の長時間の上空待機などを防ぐことができます。離陸の指定時刻は日によって異なりますが、出発予定時刻よりも大幅に遅い場合は、お客さまを機内で長時間お待たせしないよう、搭乗時刻を遅らせることもあります。

しかし、指定された離陸の時刻は、状況に応じて早まったり指定が解除されたりすることもあります。常に最新の情報を収集しご案内ができるよう我々スタッフも努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

福岡空港では、オフィス勤務者も機内清掃に参加するなど、出発前の機内準備を早く整えられるよう取り組んでおります。

JALグループはこれからも安全を最優先に定時出発に向けて全力で努めてまいります。

2016年8月

JAL スカイ九州 知ってま SKY 編集メンバー